

## 先端技術で社会と産業の進化を支える

### 株主の皆様へ

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに、当社第65期中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成25年12月  
代表取締役社長 三浦 直行

## 営業の概況

## Review of Operations

当中間期における世界経済は、米国におきましては住宅市場及び雇用環境の改善を背景に経済は緩やかな回復基調を辿り、欧州諸国は財政問題が小康状態になるにつれ経済は下げ止まりの傾向となっているものの、これまで好調を維持してきた中国をはじめとするアジア諸国におきましては、経済の成長速度が鈍化する傾向にあるなど、依然として予断の許せない状況が続いております。一方、わが国経済は、デフレ脱却に向けた日銀の金融緩和により、為替市場において円安に転じたことにより輸出環境が改善してきたことに加えて、景気回復のための政府の経済対策効果により、個人消費の復活期待が高まってきたこと等で景況感是好転しておりますが、総じて不透明な状況で推移しております。

このような環境のもとで、当社は堅調な需要が続くスマートフォン、タブレット端末等に関連する得意先や輸出が好調な自動車・車載部品関連の得意先に向けて、省力化や自動化のための設備投資に必要なFA機器、制御機器等の販売を推

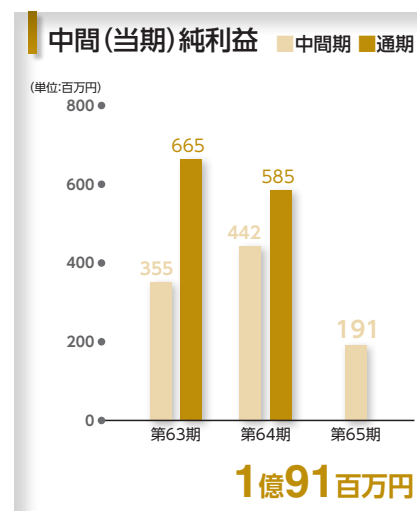
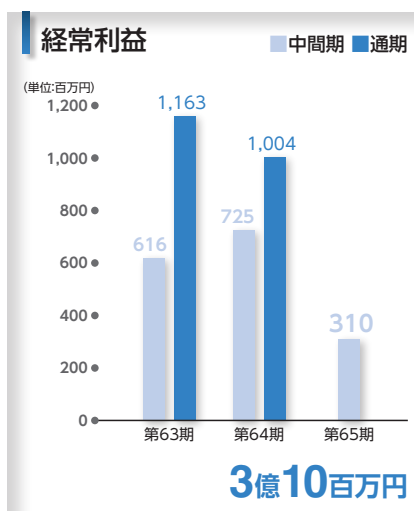
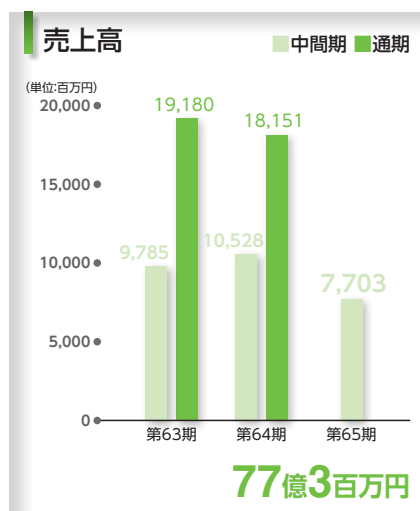
進するとともに、業界を問わず将来の成長が期待できる有望な企業の開拓営業を積極的に展開してまいりました。また、管理面におきましては第5次販売システムの導入による販売管理の効率化を含め、総体的なコスト削減推進に努めてまいりました。

しかし、半導体関連業界やデジタル家電業界におきましては、設備投資を抑制する動きが強まるとともに、自動車関連業界におきましても自動車の国内販売が前年比マイナス状況で推移する等、当社を取り巻く経営環境は厳しい状態が続きました。

以上の結果、売上高は77億3百万円（前年同期比26.8%減）、営業利益は2億46百万円（前年同期比63.1%減）、経常利益は3億10百万円（前年同期比57.3%減）、中間純利益は1億91百万円（前年同期比56.8%減）となりました。

## 決算ハイライト

## Financial Highlights

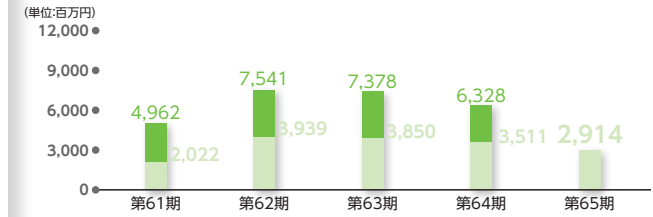


制御機器

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、前期から回復が遅れていた半導体製造装置及び基板実装機に関連する得意先及び電子部品関連の得意先における空気圧機器の需要が伸びなかったことに加えて、今まで設備投資需要が堅調であったスマートフォン関連の得意先における設備投資需要も伸びなかったこと等により、制御機器全体の売上高は前年同期を下回る29億14百万円(前年同期比17.0%減)となりました。

売上高

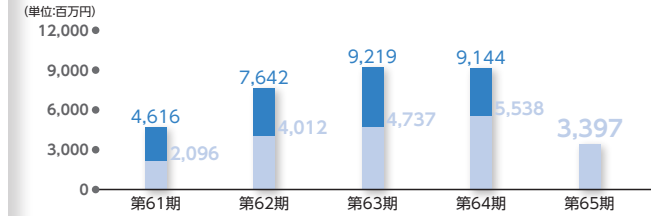


FA機器

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、半導体関連の一部の得意先向けに表面実装システムの大口需要がありました。前期まで好調であったスマートフォン関連の得意先向けの産業用ロボット、ファイバーレーザー溶接機及びレーザーはんだ付けロボット等の需要が一段落したことに加えて、電子・家電、包装機械及び自動車・車載部品関連等の得意先における産業用ロボットを中心にしたFA機器全般の需要が不振であったことにより、FA機器全体の売上高は前年同期を下回る33億97百万円(前年同期比38.7%減)となりました。

売上高

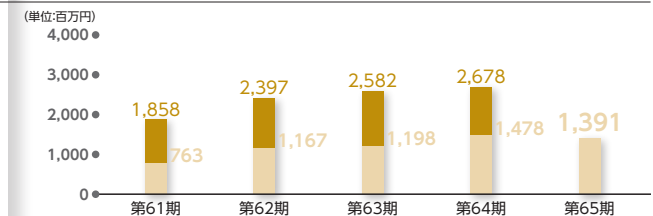


産業機器

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、前期から販売代理店として取り組みを開始したろ過フィルターの需要は順調であったものの、前期まで好調であった半導体研磨装置関連の得意先向けのアルミフレームの需要が一段落したことに加えて、自動車・車載部品に関連する得意先向けの無人搬送車等の需要及び包装機械関連の得意先向けの搬送システムの需要が伸びなかったこと等により、産業機器全体の売上高は前年同期を下回る13億91百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

売上高



トピックス

Topics

ミニ展示会&プライベートショーを開催

当社は、お客様のモノづくりを支えるパイオニア商社として、製造業の生産設備向けに技術革新を提案・提供するツールとして、“ミニ展”及び“プライベートショー”を当社全国各拠点及びお客様の工場等でメーカー様と協賛で実施しております。

東京ビッグサイト等で行われる大きな展示会に接する機会の少ないお客様などをサポートするための、新商品及びソリューションを提案する活動を地道に行っております。

「NEXTAGE」[川田工業(株)]  
(ヒトと共存して動くロボット)



プライベートショーの実施風景です。  
(本年9月東京本社にて)

会社の概要

Corporate Data

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日 (創業: 明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売及び輸出入。
従業員数	204名 (男性: 144名 女性: 60名) (平成25年9月30日現在)

株主メモ

Shareholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 (http://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。